

第6学年 単元名「みんなで楽しく過ごすために」

学習の内容

- 在校生との交流会で、自分たちの経験や学びをどのように伝えるか考える。
- ・高学年として経験した2年間で感じた思いを出し合う。
- ・話し合う目的・議題・条件を確かめる。
- ・議題に対しての自分の考えをもち、主張や理由、根拠について明確にする。

- 議題に沿って話し合い、考えを比べたりまとめたりする。

【考えを比べ合う】

- ・主張を先に述べるようにさせる。
- ・1学期の経験を「仮の結論」とし、その結論をもとに改善策を考える。

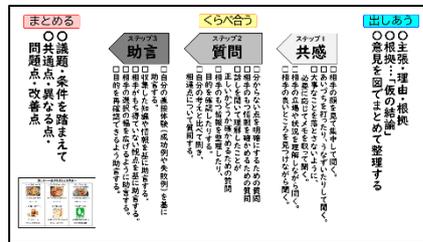
【考えをまとめる】

- ・目的・議題・条件を踏まえる。
- ・共通点や相違点、問題点、改善点を挙げ、全体で共有する。

2年間で感じた思いを出し合う



話し合いの流れを確認する



班でワークシートにまとめる

まとめる	くらべ合う	出しあう
目的 議題 条件		

()班

【話し合い活動】

- ・1班4～5人、前後半に分け、話し合いの様子を観察する。
- ・考えを付箋に書き出し、整理していく。
- ・司会者、記録者、参加者に役割を分ける。
- ・班での結論をワークシートにまとめ、発表の準備をする。



相手意識・目的意識の明確化

感染症対策等困難な状況もあった2年間。それを仲間と共に乗り切ってきたと前向きにとらえさせた。そうした自分たちの経験や学びを在校生に伝える交流会を持つことにし、相手意識・目的意識を持たせた。

話し合い活動では、相手に効果的に伝えるために学びを伝える方法を考えさせた。伝えるための手段なのか方法なのかを児童の中で明確化させる必要があった。

自信をもって表現できるようにするための工夫

初めに2年間のクラス年表を作り、思いを整理した。そして自分の思いを明確にするため、「目的・議題・条件」を意識させた。また話し合いの中で、「共感・質問・助言」の3つのステップを確認し、互いの意見を尊重し合う姿勢の大切さを指導した。

思考ツールなど可視化したことにより効果的に学べた。より踏み込んでいつ、どうする（具体・経験）まで落とす必要があった。

振り返りと学習評価の充実

グループを前後半2グループに分け、互いに話し合いの様子を観察できるようにした。良い点改善点、「共感・質問・助言」に相応しい言葉等を見つけ合えるようにすることで、次の話し合いに生かせるようにした。

掲示物を工夫したことで、振り返りも効率よくできた。話し合いについては、評価基準をもう少しまとめて具体的に示しておくことで、より学習理解が深まった。